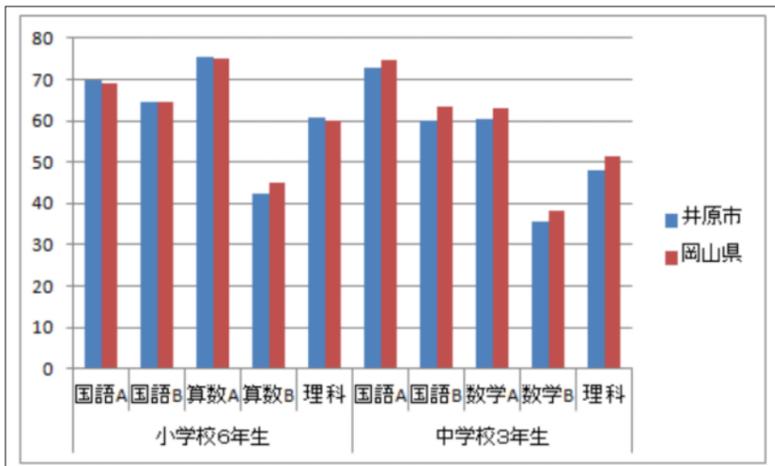


井原市教育便り  
**ともなび**  
2016.1 VOL.3

今回のともなびは、井原の子どもたちの学力に目を向けました。子どもたちのために家庭・保護者の方のご協力をお願いします。



市内の小・中学校では、昨年4月、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するため、「全国学力・学習状況調査」が実施されました。

その結果、左のグラフのように小学校6年生では、国語、算数の基本の部分(A)では県平均を上回っているものの、応用の部分(B)では県平均を下回っており、中学校3年生では、国語、数学、理科のいずれも県平均を下回っていました。

この結果を受けて、学校では、4月段階で、把握した児童生徒の学力に基づき、力の伸長及び課題克服に向け、「出来た」「分かった」喜びを感じさせる授業をめざして、岡山型学習指導のスタンダード

家庭で自主学習の習慣づけを  
全国学力・学習状況調査と  
学力定着状況たしかめテストの結果から

これらに基づいた授業づくりや、家庭学習のスタンダードに基づく、授業と家庭学習のつながりを意識した指導に取り組んでできました。

11月のテストで  
取組の成果が明らかに

これらの取り組みを続ける中で、11月には、小学校4・5年生、中学校2年生を対象に、県下一斉に「学力定着状況たしかめテスト」が実施されました。

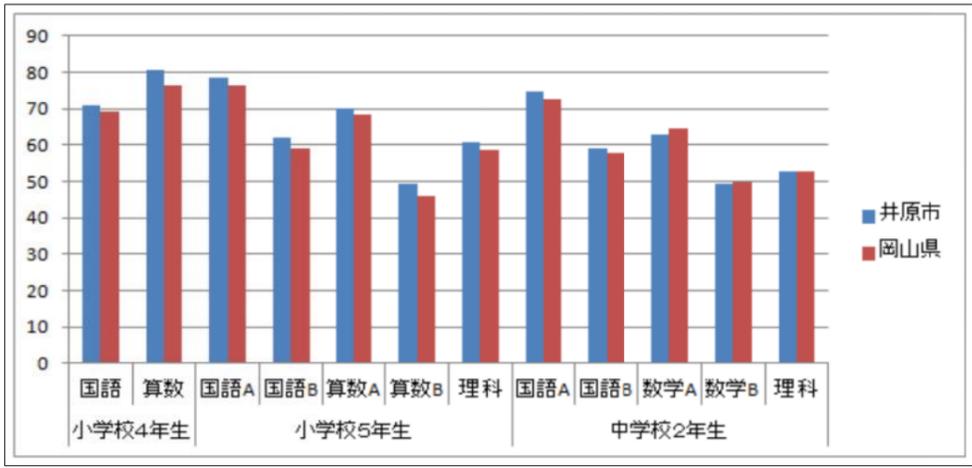
その結果、下のグラフのように、小学校では、実施されたすべての科目で県平均を上回り、中学校でも、国語と理科で県平均を上回るか、同等となっており、半年間の取り組みの成果が明らかになりました。



がんばれ!! いばらっ子

子どもが伸びる  
家庭学習の習慣を

学校では、3学期に入り、課題を積み残したまま次の学年・学校に子どもたちを送らないために、当該学年で課題のある問題、学年や小・中を超えて課題のある問題を、授業や補充学習、家庭学習や小



を克服することができました。そして、今後、克服しなければならぬ課題もわかってきました。子どもたちにとって何が課題のままたり、3学期に、何をどう取り組むのか、成果と課題を次の学年、学校にどうつなげていくかを、学校では、ご家庭と一しよに考え、共通理解していきたくと考えています。

平成28年度から  
夏・冬・春休みの期間が  
変わります

このたび、井原市学校管理規則の一部が改正され、平成28年度から夏休み等の長期休業日の期間が次のように変わります。

学校別休業別	幼稚園	小学校 中学校	市立 高校
学年始休業日	4月1日 ~4月8日	4月1日 ~4月6日	4月1日 ~4月8日
夏季休業日	7月20日 ~8月30日	7月20日 ~8月30日	7月20日 ~8月30日
冬季休業日	12月23日 ~1月6日	12月23日 ~1月6日	12月23日 ~1月6日
学年末休業日	3月22日 ~3月31日	3月27日 ~3月31日	3月22日 ~3月31日

家庭学習の3つの約束	始める時刻 学習場所 学習量
学習環境を整える	学習場所の整理 準備(辞書など)をしてから学習 終わったら、片付けと翌日の準備

家庭における「家庭学習のルール」を決める視点

テスト等を活用しながら、徹底的に取り組んでいます。

「ご家庭でも、次の3つのポイントに留意いただき、「子どもが伸びる家庭学習」の習慣づくりにご協力をよろしくお願ひします。

**ポイント1** 子どもを支える学習環境づくり

ご家族、保護者の方々が協力して、子どもとの会話やふれあいを大切にしましょう。そして、「家庭学習のルール」を子どもと一しよに作っていきましょう。

いばらっ子生活リズムプロジェクト

**食べて動いてよく寝よう**

ばくどん      すぼっち      ぐっすりん

**ポイント2** 学ぶ意欲を高める自主学習

まず、宿題。次に自主学習。子どもたちにはその習慣を身につけさせることが大切です。

学校が出す宿題だけでなく、自主的に間違い直しをしたり、興味があることを調べたりするなど、自主学習に取り組むことは学ぶ意欲を高めます。

**ポイント3** すべての根幹 正しい生活習慣

正しい生活習慣は、すべての根幹です。だからこそ、身に付くまで、粘り強く関わり、しっかりと応援しましょう。

# 美星天文台

## 迫力ある立体映像で 宇宙を体感しよう

このたび、井原市美星天文台では、昼間や夜間の曇天・雨天時で望遠鏡が使えない時にも、迫力の立体映像で宇宙を体感できる、国立天文台の4D2U（フォーディーツーユー）を用いた星と宇宙の上映システムを整備しました。



4D2Uとは、3次元空間（3D）に時間軸を合わせて、「4次元」とし、宇宙の時間的変化を最先端のコンピューターで描き出し、また最近の観測データを用いて、宇宙を目のあたりにしているかのように見ることが出来るものです。美星天文台のシステムは、2台のパソコンと2台のプロジェクターで、それぞれ左目用の映像、右目用の映像を再生、映写します。プロジェクターの前には、それぞれ左目用、右目用の光だけを通すような偏光フィルター（円偏光方式）があり、専用のメガネを通して見ると、立体映像として見ることが出来ます。

スクリーンは150インチの大きさがあり、一度に50人まで鑑賞出来ます。公開スケジュールは次のとおりです。ぜひ、皆さんも迫力ある宇宙空間の立体映像を体感してください。

上映時間 約30分

公開時間 日曜、祝日 午後1時30分、午後3時、午後5時30分、午後8時

（2回公開）

平日 午後2時（1回公開）

夜間公開時（曇天、雨天時）

午後8時（1回公開）

休館日 毎週木曜日

くわしいことは、美星天文台（87 4222）まで

### 食育講座を開催

#### ごんぼう掘りを体験

岡山県学校給食会井原支部及び井原市学校給食センターでは、去る11月7日、食育講座「明治 ぼつぼつ村の句を味わおう」を開催しました。

これは、井原市内で栽培されている特産品にふれることで地域の気候や風土を知るとともに、野菜



くわを使ってごんぼう掘り

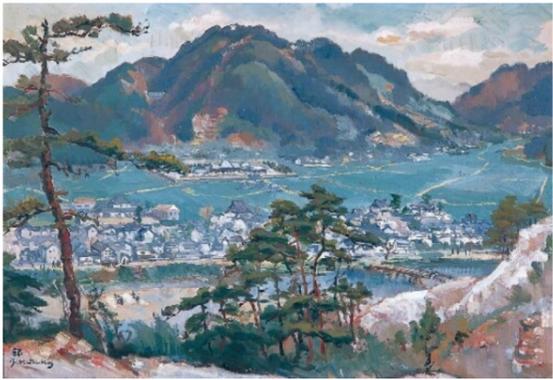
作りの苦労や収穫の喜び、おいしい食べ方を学んだり、特産品を通して、食の大切さや食に関わる方々への感謝の気持ちを養うことを目的に、毎年開催しています。今年度は芳井町明治地区の特産ごんぼうの収穫体験とごんぼうを使った調理実習を行いました。

当日は、市内の小学生と保護者9家族20人が、芳井町明治蔬菜園芸組合の方々の指導で、ごんぼう掘りを体験しました。

また、調理実習では、ごんぼうを使ったおすすめ料理3種類を園芸組合加工部の皆さんの指導で親子で調理し、参加者全員で試食しました。

参加者からは、「土が粘土質

## いばら豆知識 =第3回= 郷土の画家 片岡銀蔵



「嵐山より矢掛の町を眺む」(県立矢掛高校蔵)

片岡銀蔵は、岡山県の洋画壇に大きな功績を残した美星町出身の洋画家です。

明治29年に美星町で生まれ、画家を志し上京、東京美術学校（現在の東京芸術大学）で学びます。帝展、日展に出品を重ね入選しますが、

戦時中に岡山へ疎開したのを機に、亡くなるまでの約20年間を岡山の地で過ごしました。

井原には昭和21年頃から29年頃まで住み、制作するとともに、岡山県美育振興会後月支部や井原高等学校の美術講師を務めるなど、後進の指導にあたりました。

銀蔵は昭和19年、矢掛町中川村に疎開していたと伝えられます。それから井原に移るまでの数年間を矢掛町で過ごしたと思われまます。この作品は、生まれ育った美星町にほど近い矢掛町の町並みを、一軒一軒丁寧に愛情を持って描いているようです。画面の左側には矢掛小学校、その手前には矢掛本陣、その奥には銀蔵が学んだ旧制矢掛中学（現在の県立矢掛高校）、画面の右側には当時の弦橋（つるはし）が見えます。田んぼのあぜ道、土手や橋の上など点々と人影が確認できます。銀蔵の風景画には往々にして人物が配されていますが、それが自然と風景に溶け込み、画面に温かみを与えています。

芳井歴史民俗資料館では、昨年「特別展 郷土の画家 片岡銀蔵展」を開催しました。およそ千人の来館があり、郷土作家に対する関心の高さをうかがうことができました。

### いばら生き生きクラブ会員募集!

いばら生き生きクラブでは、平成28年度の申し込みを3月15日（火）から開始します。会費が割引になる「かぞく割」もご利用ください。くわしいことは、スポーツ課（TEL 62-9533）まで。



### ご存知ですか「Team夢源」 【みらいのひかりをつなげプロジェクト】

井原市中央公民館（アクティブライフ井原）では、若者たちが集い、地域に関心をもち、自らの力で地域をよりよくしていこうとする意欲と実践力を身につける場をつくり、若者たちの自己肯定・有用感と地域への愛着心を育み、地域活性化に活かそうという取り組みを進めています。

宿や学習会、参加者同士がお茶を飲みながら楽しく情報や意見を交換できるカフェなどを開催したり、今後、井原デニムをアピールするイベントを企画したりするなどの活動を展開しています。

興味、関心のある人は、ぜひ、井原市中央公民館（TEL 63-3347）まで。

活動しているメンバーは、市内に在住、もしくは在学する中・高校生を中心とした若者「夢源Makers」と、プロジェクトの趣旨に賛同する地域の大人たち「夢源Supporters」で構成されています。

「井原市の教育の魅力化＝魅力ある人づくり」をキーワードに、地域のお祭りに出店したり、地域で活躍する大人たちをゲストに招いての合



まなびフェスタ(1/30・31)に向けて準備中

で、ごんぼうを掘るのが大変。」「子供たちと料理など色々体験できて良かった。」などの感想が寄せられました。

### 高梁川流域の図書館が便利に

#### 図書館が便利に

高梁川流域連盟に加盟している、倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町の7市3町では、公立図書館の相互利用サービスを実施しています。内容は、自分の住んでいる市町以外の図書館でも利用者カードを発行してもらい、図書などを借りることができ、昨年9月からは、それぞれの図書館で借りた図書な

どを、圏域のどの図書館でも返却できるようにしました。出かけた先にある図書館を利用して、図書などを借り、返却は近くの図書館でできるのはとても便利です。また、普段利用している図書館以外の図書館では、新しい発見があるかもしれません。皆さんも、ぜひこのサービスをご利用ください。

くわしいことは、井原図書館（62 0822）まで。

### 井原市教育便り

#### ともなび

発行 井原市教育委員会  
編集 教育委員会教育総務課  
住所 井原市井原町3111  
FAX TEL 08666622  
08666622  
6262  
03331